

2022年度 第5回 藤沢市立湘南台小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年2月15日(水) 10時から
場 所 湘南台小学校 多目的室(旧PCルーム)

出席委員	川口 昇（会長 湘南台地区地域協力者会議会長） 天野 和美（副会長 湘南台小学校校長） 大久保 敬一（湘南台市民センター長） 落合 英雄 川野辺 豊盛 河合 恒二 廣田 きよみ 栗原 千束 千葉 好治 寺西美和（湘南台小学校教頭） 以上 10名(欠席2名)
次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 (1) 学校評価について (2) その他 4. その他 来年度会議予定について 5. 閉会
協議内容	3 (1) - 各学年の年間報告の4年生の中に「他者を気にするようになる」とあるが、この学年の特徴か。 ⇒発達段階的に周りに目が向くようになってきた様子。高学年全体に見られる。 - 日本語指導コーディネーターについて、どういう立場の方か。ボランティアか。学校で何をするのか ⇒来年度から、外国にルーツがある児童生徒の日本語力のアセスメント等を行う市の会計年度任用職員をコーディネーターと位置づけ、アセスメント以外に、日本語指導教室に来室する児童生徒の指導にもあたる予定。 - ロイロノートとは何か ⇒担任も含むクラス全員で、学習内容や意見の可視化、相互のやりとりや共有ができる、オンラインの学習アプリケーション。 - 学年の振り返りについて、児童の実態や課題だけではなく、それに対してどうしたいと考えているのかなどが書かれているとよい。また、学校教育目標に沿った観点で書けるとよかったと思う。 - 地域の声に対してどう対応したか。今年度はコロナ禍で難しかったと思うが。 ⇒難しい状況ではあるが、今後は学習を通して関われるとよいと思っている。 - 湘南台学級6年生の児童の進路は。卒業式のマスク着用はどうか？ ⇒地域の中学校へ進学するものと、特別支援学校に進学する者がいる。マスク着用については国や県の方針を受けて市からも通知がある見込みのため、それに従う。 - ICT 機器の活用がめざましく進んでおり驚いた。自分の時代には考えられなかった。よいことだと感じている。

協議内容

- ・湘南台小学校に在籍する児童は増加傾向なのか。六会小学校は増加していると聞いている。
- ・空き教室の状況について。湘南台地区の児童数推計について、マンションは増えているが、湘南台地区でも六会側に建っている集合住宅が多い。
- ・学校行事やPTA 行事の実施状況はどうか。次年度以降の見通しはどうか。行事が戻ってくことで、地域の住民も活性化してよい。
- ・高学年のクラブ活動や、実行委員の活動は、今どういう状況か
⇒実行委員は一人一役として取り組んでおり、活動内容も多岐にわたる。クラブ活動は回数は減っているが、実施している。
- ・身の回りの整理整頓が苦手な児童が多いということについて、現在の子どもは物を大切にすることに対する感覚が、昔と比べ変化していると感じる。給食の残食の状況はどうか。
⇒一定量の残食は出てしまう状況。アレルギーがあり除去食対応の児童や、宗教上の理由で持参する児童もいる。
- ・アンケートの結果から、児童の言葉遣いや挨拶の指導の取り組みについて、保護者と職員の意見が一致している(評価が低い)。家庭で取り組むことはできないか、と思う。
- ・校内研究について、多忙な中、時間を確保することが可能なのか。
⇒月に一度会議をもち、学年ごとに授業を見合う等の方法で取り組んでいる。

*今回をもって今年度の協議は終了